

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成23年2月3日(2011.2.3)

【公表番号】特表2010-514354(P2010-514354A)

【公表日】平成22年4月30日(2010.4.30)

【年通号数】公開・登録公報2010-017

【出願番号】特願2009-542795(P2009-542795)

【国際特許分類】

H 04 N 5/76 (2006.01)

H 04 N 7/173 (2011.01)

H 04 N 5/91 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/76 A

H 04 N 7/173 6 3 0

H 04 N 5/91 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年12月6日(2010.12.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ビデオが早送りされているときに、知覚可能な代替メディアを含むビデオを構築するための方法であって、

ビデオを識別することと、

代替メディアを識別することと、

該代替メディアが表示され、そして、ユーザが該ビデオを早送りするときに、該代替メディアが知覚可能であるように該ユーザの視野に十分に長く存続するように、ビデオフレームを選択することによって、該ビデオの該ビデオフレームの中に該代替メディアを組み込むことと

を含む、方法。

【請求項2】

少なくとも部分的に記憶デバイスに前記ビデオを記憶することと、

該ビデオを再生することと、

該ビデオを早送りするユーザ命令を受信することと、

前記選択されたビデオフレームを表示することと

をさらに含み、該選択されたビデオフレームは、前記代替メディアを示し、該代替メディアは、該ビデオが再生速度で表示されたときに知覚可能でない、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記ビデオは、少なくとも1つの宣伝を含み、

前記ビデオを早送りするユーザ命令を受信することは、該少なくとも1つの宣伝を早送りするユーザ命令を受信することを含む、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

ビデオが早送りされているときに知覚可能である代替メディアを含むビデオを構築するためのシステムであって、該システムは表示デバイスと制御回路とを備え、該制御回路は

、ビデオを識別することと、
代替メディアを識別することと、
該代替メディアが表示され、そして、ユーザが該ビデオを早送りするときに、該代替メディアが知覚可能であるように該ユーザの視野に十分に長く存続するように、ビデオフレームを選択することによって、該ビデオの該ビデオフレームの中に該代替メディアを組み込むことと
を行うように構成されている、システム。

【請求項5】

記憶デバイスをさらに備え、前記制御回路は、
少なくとも部分的に記憶デバイスに前記ビデオを記憶することと、
該ビデオを再生するように、該記憶デバイスに指示することと、
該ビデオを早送りするユーザ命令を受信することと、
該ユーザ命令の受信に応答して、該ビデオを早送りするための表示のために、該ビデオの該ビデオフレームを識別することと、
該識別されたビデオフレームを表示するように該表示デバイスに指示することであって、該識別されたビデオフレームは、該ユーザに知覚可能である代替メディアを示し、該代替メディアは、該ビデオが再生速度で表示されるときに、知覚可能でない、ことと
を行うようにさらに構成される、請求項4に記載のシステム。

【請求項6】

前記ビデオは、少なくとも1つの宣伝を含み、前記制御回路は、該少なくとも1つの宣伝を早送りするユーザ命令を受信するようにさらに構成される、請求項5に記載のシステム。